

産業廃棄物保管施設 設計チェックリスト

【1. 基本要件】

飛散・流出・漏洩を防止できる構造になっている
悪臭・害虫・汚水発生を抑制する設計
分別管理・識別表示の計画がされている
安全な通路幅・動線を確保できている

【2. 屋根（覆い）】

雨水が直接廃棄物に触れない屋根構造
側面の半密閉化（飛散防止）の検討
屋根勾配の確保（1/20～1/30）
雨樋・排水経路が適切に計画されている

【3. 床（舗装・止水構造）】

不浸透性の床材（コンクリート・アスファルト）
床厚150mm以上 or 荷重に合わせた設計
排水勾配を確保し、集水ピットを設置
汚水が外に流出しない止水構造

【4. 仕切り壁（区画）】

廃棄物の種類ごとに明確な区画を設置
不燃材（RC、ALC、鉄板など）を使用
区画の高さ1.5～2.0m以上
粉体廃棄物の場合は天井までのフルクローズ

【5. ラベル表示・管理】

廃棄物種類・事業者名・開始日を明示
保管容量が条例範囲内である
日々の保管量記録を行う仕組みがある

【6. 動線・作業環境】

フォークリフトの走行幅を確保
積み下ろしスペースが十分
防災設備（消火器・誘導灯）配置
換気計画が適切

【7. 法令・条例確認】

廃掃法および自治体条例を反映した設計
場所ごとの保管量規制を確認
変更申請・届出の必要性を確認

以上の項目を満たすことで、安全かつ法令に適合した産廃保管施設の建設が可能になります。